

鏡川流域パートナーシップだより No.275 R8.4.30



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

朝倉地域で水路の生きものを探しました！

4月23日(木)、鏡川流域関係人口が企画したイベント【**朝倉地域で水路のシジミをみんなで見よう！**】が開催されました。本イベントは、「朝倉地域の水路にはシジミがいるらしい！」という声から、実際に現地で探してみたいということで、「特定非営利法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト」代表・水谷要さん(東京都在住)や高知大学大学院博士課程2年・中川幹大さんが中心となり、企画してくれました！

平日、雨にもかかわらず、鏡川流域関係人口の方々や高知大学の教諭、学生など、**14名**が参加しました♪



イベントの様子



イベントチラシ



まずは、生きもの探しに向かう前に、シジミについて、種類や生態などを説明してもらいました。今回のお目当ては「マシジミ」という在来種ですが、外来種である「タイワンシジミ」の影響で、数が少なくなっているそうです。ちなみに、よく食べられているのは「ヤマトシジミ」という種類とのこと！



水谷さんが代表を務める「特定非営利法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト」は、**リバーブランディング**(川を起点に地域の稼ぐ力と地域プロモーションを創造すること)を通じて、地方再生の取組を進めています。水谷さんの取組の記録や地方再生についての検討などを、著書「川から始める地方再生」に記しています。

室内での説明後、雨が降っていましたが、生きもの探しに高知大学敷地内を流れる水路に向かいました。

雨の影響もあり、水路の水が濁っていたため、目視では生きものは確認できませんでしたが、水路の中を網で掬うと、貝などの生きものがたくさん捕れました！参加者からは、「すごい！」や「いろんな生きものがいて驚いた！」といった声が聞こえてきました^^



雨の中でのイベントとなりましたが、主催者の中川さんは傘もささず、夢中で生きものを探していました！その様子を見て、「次は水路に入って一緒にシジミを探したい！」という参加者が多数いました！今回はマシジミを探していましたが、テナガエビ、ドンコ、ヤゴ、ハゼ等、たくさん生きものを見つけることができました！



探索後、ケースに入れて持って帰ってきた生きものを観察しました。たくさん捕れたシジミのほとんどはタイワンシジミでしたが、一つだけマシジミに似た個体がありました！今後、同定等を行い、種類を特定することです！



【4月23日(木)開催!!】朝倉地域で水路のシジミをみんなで見よう!

+390 もらう

オンライン体験

14人が利用

「また参加したい！」という声をたくさんいただいたイベントでした！第2回開催を乞うご期待！是非ご参加ください^^



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android